

第557回

I B C 番組審議会 議事録

－議題－

『テレビ・ラジオの年末年始番組』

平成23年1月19日

(株) I B C 岩手放送

## 第557回IBC番組審議会

1. 開催日時 平成23年1月19日(水) 午前11時
2. 開催場所 デジタルセンター3F Dホール
3. 委員の出席
- |      |     |
|------|-----|
| 委員総数 | 11名 |
| 出席委員 | 6名  |
| 欠席委員 | 5名  |
- 出席委員の氏名
- |      |             |
|------|-------------|
| 委員長  | 田代 高章       |
| 副委員長 | 熊谷志衣子       |
| 委員   | 大村友貴美 小笠原 裕 |
|      | 小松 務 澤口たまみ  |
- 欠席委員の氏名
- |            |
|------------|
| 工藤 和彦 白石 茂 |
| 杉本 博 田辺 博  |
| 矢佐 俊幸      |
- 会社側出席
- |       |          |
|-------|----------|
| 阿部 正樹 | 代表取締役社長  |
| 阿部 広  | 常務取締役    |
| 鎌田 英樹 | 常務取締役    |
| 熊谷 鉄郎 | 取締役編成局長  |
| 川上 隆  | 取締役営業本部長 |
| 武田 敏哉 | 報道局長     |
| 関 芳樹  | テレビ制作部長  |
| 姉帯 俊之 | ラジオ放送部長  |
4. 議題 『テレビ・ラジオ 年末年始の番組』

## 5. 議事概要

### <委員の主な発言>

- IBC特集などの自社制作番組が、なぜ早朝の編成になっているのか。午後帯に編成するのは難しいことなのではないでしょうか。
- 「いわてホットライン」は楽しませてもらった。アナウンサーの仮装がうまい。今年も何かやると聞いていたが、浅見アナウンサーの戦場のカメラマンは、雰囲気や話し方がそっくりで、驚かされました。
- 年末年始はスポーツの番組を楽しみにしているが、高校ラグビーをなぜ深夜にしか放送できないのか、いつも残念に思っている。色んな事情があるのなら、そこを克服して期待にこたえて頂きたい。
- 年末年始は大雪に見舞われたが、災害や緊急時のラジオの力を感しました。ラジオの活用の仕方を普段から考えておくことが大切だと感じた。
- 「イーハトーブ花紀行」はいい番組でした。宮沢賢治の世界だろうと思って見たが、本当に宮沢賢治とともに岩手の四季、花や昆虫、小動物などを紹介しており、映像もきれいで、たくさんの人に見てもらいたい番組の一つでした。
- 「イーハトーブ花紀行」このような番組は一番気持ちが安らぐ。岩手の自然の美しさは日ごろ感じているが、月々の花の美しさ、種類の多さ、ハヤチネウスユキソウなどは地デジで見ると、その美しさも違ってリアリティが出てくる。いい番組だった。
- 最初に見たのは、いつも期待している「盛岡文士劇」です。現代劇はアナウンサーを中心にお笑いの要素が強くて、大塚アナウンサーの対応を視聴者は期待して見ており、それが良さだと思った。時代劇は演技する方々のレベルがどんどん上がっている。劇場で見るのは厳しいので、年が改まったところでテレビで見られると、またそれなりに楽しめると思う。

### <会社側の発言>

- 自社制作の番組や、系列局の優秀番組の編成が早朝に片寄ってしまったことへの対応については、日中の放送を含めて検討してみたい。高校ラグビーの放送枠については、生放送が基本であることは当然のことですが、試合開始時刻とネット番組の関係で、難しい面もありますが、組合せ抽選を見ながら、編成できるかどうか工夫してみたいと思っています。今回は、大雪による停電で番組を見られなかったという声が局に寄せられています。「盛岡文士劇」などの再放送に向けて調整しております。緊急時のラジオ放送については、まだまだ検討の余地があると感じています。より細かく情報を提供できるようにさらに検討を重ねていきたいと思っています。